

<b>2014-B</b>					
<b>拠出金・基金の名称</b>		OECDが実施する地球規模課題の解決に向けた取組への拠出			
<b>種 別</b>		イヤーマーク      ノン・イヤーマーク			
<b>【拠出先の国際機関名】</b> 経済協力開発機構					
<b>【所管官庁担当局課・室名】</b> 文部科学省 科学技術・学術政策局 科学技術・学術戦略官(国際担当)付					
<b>【当該任意拠出金の目的・用途等】</b>					
国際的な知的公共財の創出や地球規模課題の解決に資する科学技術協力を進めるため、OECD/GSF(グローバル・サイエンス・フォーラム)が実施する事業の推進に必要な経費(派遣職員の人件費・活動費等)。					
<b>【最近3年間の我が国支払額及びODA率】</b>					
<b>単 位</b>	<b>邦 貨 (千 円)</b>	<b>外貨1 (千ユーロ)</b>	<b>外貨2 (千 )</b>	<b>レ ー ト</b>	<b>ODA率(%)</b>
平成26年度	25,136	196	-	1(通貨) = 128円	0
平成25年度	21,012	196	-	1(通貨) = 107円	0
平成24年度	21,994	196	-	1(通貨) = 112円	0
<b>【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】</b>					
<p>・グローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)は、OECD/CSTP(科学技術政策委員会)の下部組織のひとつであり、加盟国間の科学技術協力の推進のため、特にメガサイエンスや地球規模課題に関する研究について、各国の取組の情報交換や将来に向けた提言等を行うことを目的とし、特定の科学技術分野の新たな国際協力の機会の模索、重要な科学政策決定に資する国際枠組みの構築、地球規模問題に関する科学的な知見の反映を実施している。</p> <p>・平成26年度には、我が国からの専門家が共同議長を務めるなど我が国が主導的に取り組んできた「政策形成のための科学的助言～専門家組織と科学者個人の役割と責任～」プロジェクトの最終報告書が取りまとめられた他、2016年度以降の新規活動について我が国からも提案を行いGSFの将来的な方向性について検討が深められる等、一定の成果を挙げている。今後とも、GSFへの拠出は先進国としての国際的責務を果たす上でも引き続き実施すべきものである。</p>					